

## 構内トレーラー豆知識

### 構内トレーラー選定方法・豆知識

構内トレーラー（けん引台車・連結台車）は、フォークリフトなどの物流機器より大量運搬を可能にし、荷物をまとめて安全に運搬できる最も効率的な物流手段となります。当社では推奨3台、最大5台までの連結でご案内しております。※重量サイズにより変動あり。

#### ○導入されるにあたって

- ①構内トレーラーの弱点とし広い場所での旋回場所の確保や、けん引車が必要です。
- ②けん引車をお持ちでない場合はまずはトヨタL&F殿、コレック殿など各メーカーにけん引車のご相談をされることからご検討ください。
- ③屋外（構内）でのご使用か、屋内でのご使用かでタイプをご選択ください。  
屋外は主にノーパンクタイヤタイプ、屋内はキャスタータイプを  
当社は推奨しております。
- ④荷重、速度制限がございます。必ずご確認ください。
- ⑤使用環境ご確認ください。不整地での使用はNGとなっております。

#### ●よくあるご質問

Q：4WS方式の意味は何ですか。その特徴は何でしょうか？

A：牽引台車の操舵方式を現します。

・4WS（4 Wheels Stearing System）前後輪がロッドで結ばれ、方向が同調します。  
それに対して同調していない方式を2WS（2 Wheels Stearing System）＝2輪操舵方式  
といいます。前二輪が方向を決めます。

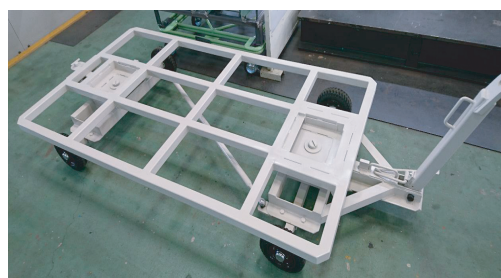
特性項目／方式	2WS	4WS
前後輪旋回半径のずれ	大きい	極めて小
前後輪の同調	なし	あり
旋回半径	大	小
適用台車規模	小～中型	中～大型
部品構成	簡素	やや複雑

Q：旋回部分はどのような構造になっていますか、その特徴は？

A：当社は旋回部はターンテーブル式を採用しております。

特徴は下記をご覧ください。

・ターンテーブル式はターンテーブルに車軸が取り付けられ回転するため、  
旋回半径が小さく、他の構造に比べ安価である。また構造が簡単でメンテナンスが容易です。  
旋回時に、外輪側（外半径）のホイールベースが大きくなり、内輪側（内半径）のそれは  
小さく（接近）になるので、ホイールベースと旋回半径の検討は注意を要します。



左の写真は荷台部分を取り付ける前に撮影したものです。

骨組みの下にターンテーブル、軸という構造になっています。また、4WSのため後の足回りはリンクされています。

台車

昇降台車

キャスター

産業用タイヤ

特殊商品  
（構内トレーラー）